

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和3年9月20日（月）～令和3年9月26日（日）〔令和3年第38週〕の感染症発生状況

第38週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) 流行性角結膜炎 3) 突発性発しんでした。

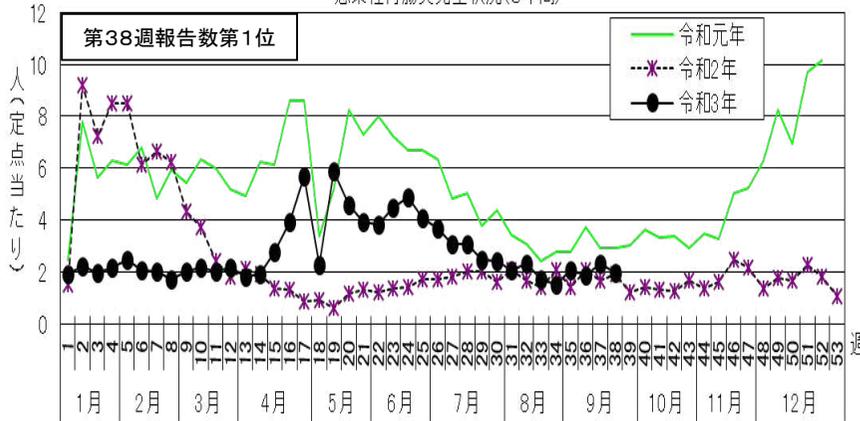
感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は1.95人と前週（2.32人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。

流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は0.38人と前週（0.56人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。

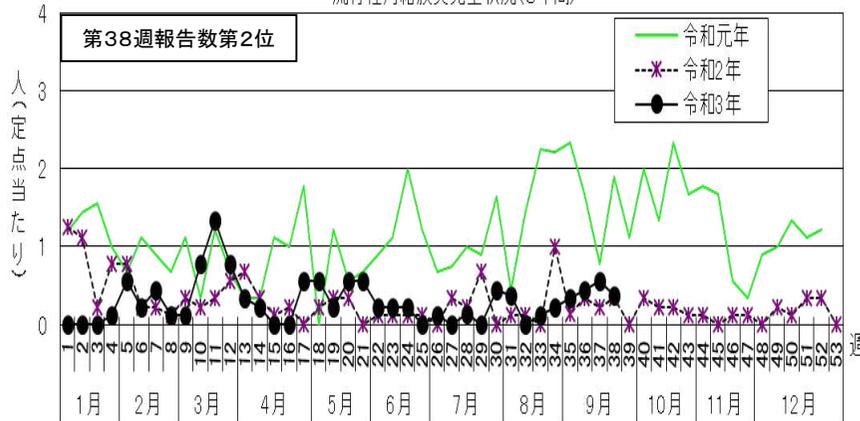
突発性発しんの定点当たり患者報告数は0.27人と前週（0.65人）から減少し、例年より低いレベルで推移しています。



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



流行性角結膜炎発生状況(3年間)

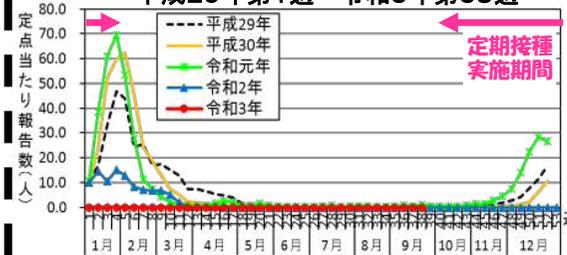


## 高齢者を対象としたインフルエンザの定期接種が始まります！

川崎市では、令和3年10月1日から高齢者を対象としたインフルエンザの定期接種（一部公費負担）が始まります。インフルエンザワクチンは、感染や発症を完全に防ぐことはできないものの、重症化や合併症の発生を予防する効果があるため、流行前に接種することが重要です。

また、ワクチン接種だけでなく、こまめな手洗いや正しいマスクの着用などの基本的な感染対策は、引き続き徹底しましょう。

川崎市におけるインフルエンザ発生状況  
—平成29年第1週～令和3年第38週—



### インフルエンザについて

#### 【症状】

突然の高熱、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛・関節痛など症状だけでは他の感染症との鑑別は困難

⇒症状がみられた際は、医療機関を受診しましょう！

#### 【ワクチン】

今シーズンのワクチンには、A型2種類（H1N1、H3N2）、B型2種類（山形系統、ビクトリア系統）の計4種類の製造株が含まれています。

### 高齢者を対象とした定期のインフルエンザ予防接種

#### ◆対象となる方(次の3つの条件を満たしていること)

- ①住所 川崎市内にお住まいの方
- ②年齢 I 接種日に65歳以上の方  
II 接種日に60歳～65歳未満の方で
  - ・心臓、腎臓、呼吸器の機能障害（障害1級程度）のある方
  - ・ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害（障害1級程度）のある方
- ③その他 接種を受けようとするご本人が接種を希望していること

接種の際は、住所及び年齢を確認できるもの（健康保険証等）をお持ちください。

#### ◆実施期間と回数

令和3年10月1日～令和4年1月31日の間に1回

#### ◆接種を受けられる場所

川崎市予防接種個別協力医療機関  
市が指定した市内約60か所の医療機関です。

#### ◆自己負担金(接種を受けた医療機関にお支払いください。)

2,300円

\*詳細は川崎市ホームページをご覧ください。



発行 川崎市健康安全研究所・健康福祉局保健所・各区役所地域みまもり支援センター  
(福祉事務所・保健所支所)  
(問合せ先) 044-276-8250

令和3年9月28日作成